

主な事業の予算額



給食費負担軽減事業
4,701 万円



移住定住促進事業
3,275 万円



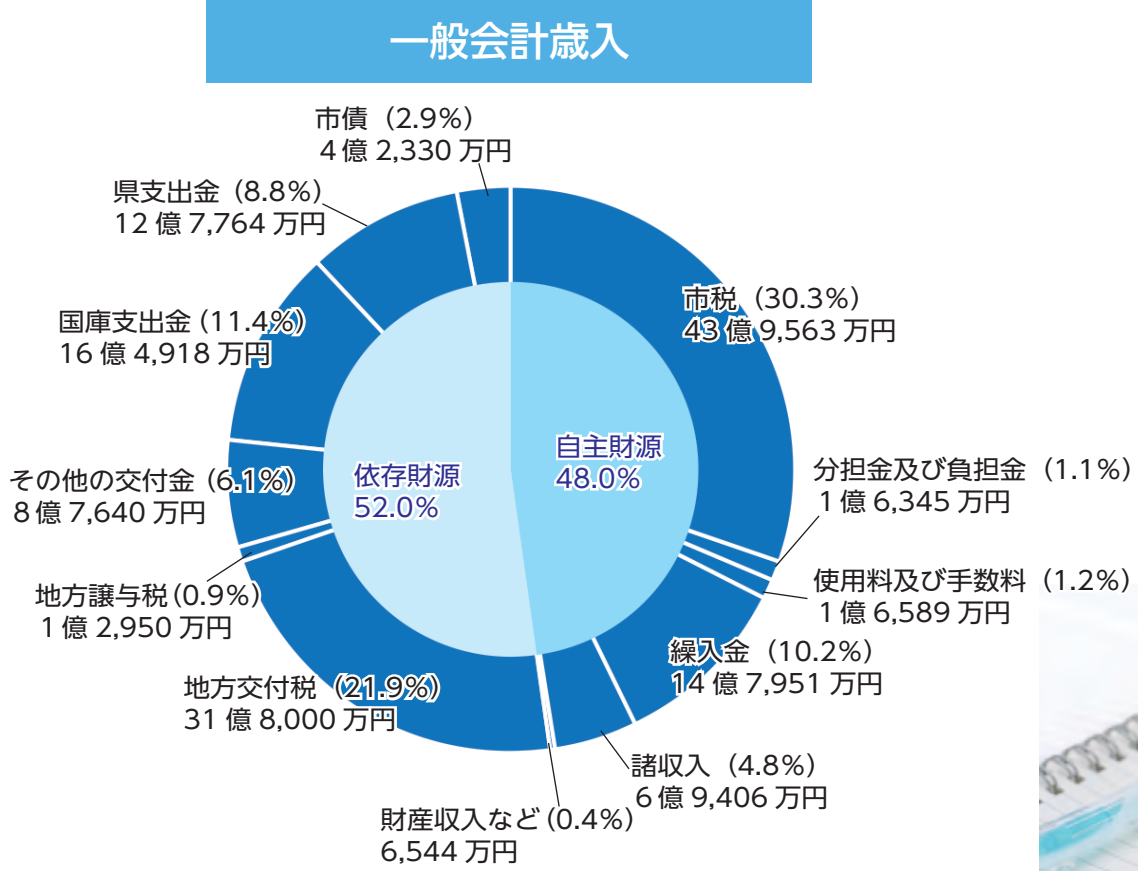
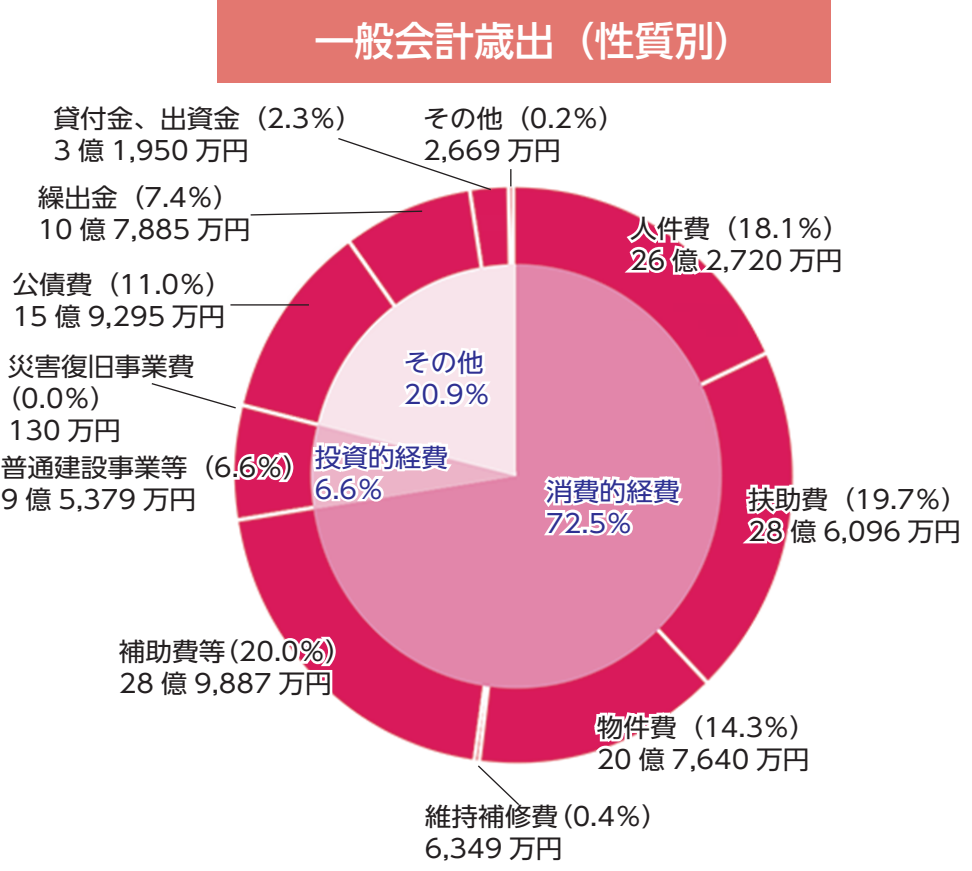
名泉郷冠水対策事業
2,640 万円



北陸新幹線開業機運醸成事業
2,051 万円



あわらっこ出産・子育て応援事業
808 万円



令和5年度
あわら市の
予算

問合せ
財政課 73・8008



家計簿でチェック

令和5年度の当初予算 145 億円を分かりやすく
3,000 分の 1 に置き換えて家計簿にしました。



1 年間の収入合計	約 483 万円	1 年間の支出合計	約 483 万円
基本給与 (市税)	146 万 5,211 円	食費 (人件費)	87 万 5,735 円
諸手当 (分担金及び負担金)	5 万 4,481 円	医療費 (扶助費)	95 万 3,654 円
副業収入 (使用料及び手数料)	5 万 5,296 円	光熱水費、消耗品費など (物件費)	69 万 2,132 円
預金の取り崩し (繰入金)	49 万 3,171 円	子どもへの仕送りなど (補助費等)	96 万 6,289 円
臨時収入など (寄付金、財産収入など)	25 万 3,166 円	家や車などの修繕費 (維持補修費)	2 万 1,164 円
親からの援助 (交付税、国県補助金など)	237 万 908 円	家などの増改築 (普通建設事業費)	31 万 7,930 円
銀行からの借り入れ (市債)	14 万 1,100 円	借金返済 (公債費)	53 万 981 円
貯金残高 (財政調整基金)	91 万 8,000 円	貯金 (積立金)	5,566 円
借金残高 (市債残高)	558 万 2,168 円	その他 (予備費、貸付金、繰入金など)	46 万 9,882 円

収入をみると、昨年より基本給与は増えているものの、収入の半分近くを親からの仕送りに頼り、銀行からの借り入れも毎年行っています。今後は、借り入れの依存を少なくし、基本給与や諸手当、副業収入の増に努めていくことが必要です。

支出では、食費や医療費、借金返済などの節約が難しい経費が半分近くを占めています。これまで、光熱水費や消耗品費、修繕費などを切り詰めてきましたが、今後も支出を抑えながら家計をやりくりしていく必要があります。

一般会計当初予算規模 145 億円

「暮らしやすく
幸せを実感できるまち」
を目指して

市の貯金
― 財政調整基金 ―

令和5年度一般会計当初予算の総額は、歳入歳出それぞれ145億円で、前年度と比較して14億円、8.8%の減となりました。この要因として、芦原温泉駅周辺整備事業や道の駅「蓮如の里あわら」整備事業などの減額が挙げられます。

市の借金
― 市債残高 ―

市の借金である市債の残高は、令和4年度末で約178億5500万円となる見込みです。令和5年度当初予算では、4億2330万円の借り入れを予定しており、令和5年度末の市債の残高は、前年と比較して約11億800万円減の約167億4700万円となる見込みです。

市の貯金である財政調整基金は、令和4年度末で前年と比較して4億8800万円増の37億5400万円となる見込みです。令和5年度当初予算では、財源不足を補填するため、10億円の取り崩しを計上しています。

各会計の当初予算額
(合計 218 億 1,018 万円)

一般会計 145 億円

市の基本的な行政サービスの経費を収支する会計

特別会計 40 億 4,160 万円

保険料など特定の収入で特定の支出に充てる会計。収入の使い道が決まっているため一般会計とは分けています。

国民健康保険特別会計	28 億 9,550 万円
後期高齢者医療特別会計	4 億 4,910 万円
農業者労働災害共済特別会計	500 万円
公共用地先行取得事業特別会計	6 億 9,200 万円

芦原温泉上水道財産区水道事業会計 2 億 1,647 万円

芦原地区の特定区域（財産区）の水道事業を運営する会計

企業会計 30 億 5,212 万円

一般の会社と同じように、独自の収入でその経費をまかなう「独立採算」を原則とする会計

水道事業会計	10 億 1,592 万円
公共下水道事業会計	20 億 3,620 万円